

# 村の「未来」に 小学生議員が 活発に質問・提案 提案を

2/7



草野・飯樋・白石小学校の6年生による「いいたて村みらい議会」が、2月7日に飯野出張所議場で開かれました。  
この模擬議会は、村政に対する関心を高めてもらおうと震災前から「子ども議会」として行われており、震災後は昨年に引き続き2回目。今年からは「みらい議会」と銘打って行われました。

議会は一般質問の形式で進められ、各小学校の代表が、村を復興・発展させるための独自のアイデアを提案したり、村の計画について質問したりしました。小学生議員からは、村長や教育長の答弁に対する再質問が出されるなど、活発に議論が交わされました。  
※紙面の都合上、内容は要約してあります。

## ～議長・副議長を務めました～

菅野 美優さん・白石小  
議長席は緊張しました。みらい議会の提案を、10年後の村の取り組みとして活かしてもらえればと思います。



安齋 和訓さん・飯樋小  
議長席からみんなの真剣な顔がよく見えました。議長経験は、意見をまとめることに活かせると思います。



**問** 村の歴史や皆さんの感じたことを演劇やさまざまな形で表現し、発信していくことは重要なことでもあります。村でも「飯館村2年間のあゆみ」で避難の記録をまとめています。小学生・中学生の皆さんが「子ども劇団」をつくるなら、村も心から応援していきたいと思えます。

**問** 原発事故や村の歴史を語り継ぐために「飯館村みらい劇団」を設立してはどうか



5番・飯樋小  
菅野 龍聖さん

**答** 鉄道の運営や高速道路のサービスエリアの建設・運営は、安定した利用者数が出て成り立つものですので、村内に建設することは難しいと考えます。村に戻った際の交通手段として、避難先と村を結ぶコミュニティバスなども計画しなければと考えています。



6番・白石小  
若林 悠華さん

**問** 飯館牛は県内外から注目され、大好評でした。これまで飯館牛を飼育・出荷する牧場はありましたが、体験型の牧場はなく、良いアイデアだと思います。将来、戻った農家などと契約して、村ならではの体験型牧場を作っていききたいと思えます。

**問** 村内に鉄道を走らせ、高速道路のSAを整備する「交通わくわくプロジェクト」を進めてはどうか



4番・草野小  
大谷 和佳菜さん

**問** 村は、あいの沢周辺の施設を活用して、村内の方が自然に触れ、交流できる観光拠点づくりを進めてきました。新しく整備するには多額の費用がかかるため、あいの沢等の施設を活用し、不足施設は段階的に整備して、提案頂いた内容に近づくよう努力します。



3番・白石小  
高橋 郁登さん

**答** 村は、あいの沢周辺の施設を活用して、村内の方が自然に触れ、交流できる観光拠点づくりを進めてきました。新しく整備するには多額の費用がかかるため、あいの沢等の施設を活用し、不足施設は段階的に整備して、提案頂いた内容に近づくよう努力します。

**問** 日本中・世界中から村に集まれる「いいたてまでいランド」を建設してはどうか



2番・飯樋小  
庄司 礼実さん

**答** ゆるキャラは、県内外で作られ、イベントなどで活躍しています。提案のとおり、親しみのある村のイメージキャラクターを活用し、村のPRや情報発信していくことは大切なことだと思いますので、多くの方の意見を聞いて考えたいと思います。

**問** 飯館牛をモチーフに「ゆるキャラ」を作り、村の良さや情報をPRしてはどうか



1番・草野小  
齋藤 幸成さん

**答** 村が帰村した後、戻った人が生き生きと生活できる仕組みづくりや村外の人が村に来たいと思う太陽光発電システムや自然を活かした設備などの計画を考えています。提案頂いた天体観測所など学びと憩いの施設も検討したいと考えています。

**問** 村の美しい自然や景色を知ってもらうため、天体観測所を作ってはどうか